



MBT NEWS LETTER

第149号
'22/06/15

< MBT在宅医療部会から報告とお願い >

超高齢社会の医療ニーズに応える在宅医療ビジネスを 3つの分科会で検討しています 遠隔医療や在宅医療に参加の会員企業を募集します！

- ・超高齢社会が進む中、今後在宅における医療機会の増加が予想されることから、MBTの理念に適切
超高齢社会に貢献できる在宅医療ビジネスの検討を行う「MBT在宅医療部会」の立ち上げを、本年
3月4日発行のMBTニュースレター第131号で紹介しました。
- ・その後、検討の進め方について、在宅医療分野に関りや関心を持つ奈良医大の医療関係者や、一部
の会員企業と意見交換を進めてきました。
- ・現在、下表に示すように、まずは奈良医大医療者3人が参加する3つの分科会で検討を開始しようと
しています。そして、これらの成果の合体を将来検討することにします。
- ・在宅の医療、看護等の事業や、遠隔医療や通信事業等に進出を検討の会員企業参加を募集します。

MBTコンソーシアム在宅医療部会

部会名	分科会名	取り組み目標	奈良医大医療関係者	現在の参加会員企業
在宅医療部会	VIP対応分科会	VIPを対象とした医療相談サービスの仕組み、ビジネスモデルの検討	梅岡比俊 (MBT特命講師)	医療法人梅華会 クオール(株) 他
	地域支援分科会	「奈良医大在宅医療支援センター」の活動を支えるハード、ソフトビジネスの検討	西尾健治 (総合医療学教授) 他	エアウオーター(株) 他
	在宅看護分科会	在宅医療、看護や看取り活動を支えるハード・ソフトビジネスの検討	小竹久実子 (在宅看護学教授) 他	イムラ封筒(株) 他

- ・以下に、3つの分科会の奈良医大の参加医療者紹介とその取り組みを示し、検討に参加いただける
会員企業への期待を紹介します。

(1) VIP対応分科会

- ・梅岡比俊講師は、医療法人梅華会グループの理事長で、現役の開業医でもあります。全国に多数の医療者ネットワークを持つ強みも活かし、まずはVIPビジネスマンや富裕層を対象に健康&医療サービスシステムのモデル構築を考えています。
- ・その手段として、今は保険適用外であっても、きわめて治療効果が高い先進医療機器やツールの積極的活用も視野にあり、このような事業に関わる会員企業からの提案を期待されています。

(2) 地域支援分科会

- ・西尾健治教授は、本年4月より奈良県中和地域の在宅医療を行う開業医に対し、夜間や休日などで有料在宅医療サポートを行う「奈良医大在宅医療支援センター」を立ち上げられました。
- ・在宅医療の現場に入ること、機器、システムのニーズや課題の把握、評価ができる立場でもあります。この視点で会員企業の参加を期待します。

(3) 在宅看護分科会

- ・小竹久実子教授は、在宅における医療・看護・看取りに必要なスキルに加え、多職種連携にも長け、患者・家族の尊厳にも気遣える看護人材の育成や現場実習を指導されています。
- ・これらの活動を通して、在宅における医療・看護・看取り現場に必要な機器、システムのニーズや課題の把握、評価ができる立場でもあります。この視点で会員企業の参加を期待します。

発行

(一般社団法人) MBTコンソーシアム、
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内

(公立大学法人) 奈良県立医科大学
担当 塩山

TEL : 0744-29-8853 (直通)、FAX : 050-3164-5598、Email : mbt@mbt.or.jp